

たんぽぽ



NO. 57

H4.3.1

—発行—

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

若いお母さんの声

理事長 田中 稔

先日、ある若いお母さんから「2才半の子供が自閉症との診断を受けました。これからどこに子供の将来の事を相談に行けば良いのでしょうか。」という電話を頂きました。

自閉症という障害については分からない事も多く、その療育法も模索の状況にあります。

「診断すれども、療育せず」あるいは「出来ず」又は「不十分」の感が強くします。それでも幼少児の療育の受け皿として左記のものがありません。

※熊本大学教育学部の先生を中心とした熊本自閉症研究会とその学生ボランティアによる土曜学級、幼児学級のグループ。

※熊本女子大学の山本先生を中心とした動作法のグループ。

※県福祉総合相談所による発達障害児の通所指導事業。(対象が現在療育を受けていない幼児)

※国立菊池病院。

※菊陽病院、服部先生の外来。

※玉名、八代等での個人の先生による療育相談教室。これ以外に児が通っている多くの保育園、幼稚園、学校等。

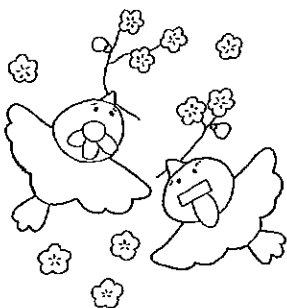
これらについて共通している事はいずれも自閉症児への療育相談はその方々がやっておられる仕事の一部、すなわち他の多くの一般障害児への療育相談の中の一部にならざるをえないという事情があります。

自閉症という障害は絶対数が少ない障害です。しかし、自閉症児

を持つ親の側からすると自分の子供の事が総てです。自閉症の専門家を求めます。専門家とは自分の言葉で自閉症とその療育について話す事の出来る人です。

三気の里では、二つの事業を始めています。『夏期療育キャンプ』と『外来療育相談業務』です。重度の自閉症者への療育実践を踏まえて、幼児から成人までの一貫した療育への相談の受け皿としての専門施設への成長を目指したいと思います。

先のお母さんは「何もしてやれないで時間だけが過ぎて行きます」と言われました。同じ状況のお母さん達をつなぐ窓口としての役割が果たせる施設への成長をさらに目指します。



## 療育シリーズ

## 研修報告

園長 土井尚典

2月中旬に千葉県の袖が浦で自閉症セミナーが開かれ、出席できるチャンスをいただいた。石井哲夫先生は、永いこと闘病されていたが、このセミナーに合わせて体調を整えられたのかお元気そうであった。セミナーの最初とまどめでお話しをされた。お話しは、今なお先生が実践をされている様子がひしひしと伝わって来た。来てよかったと実感した。

自閉症児者（以後「こども」と略す）の療育で、こどもは望ましい方向になかなか成長してくれない。療育者側（以後「おとな」と略す）はこどもが成長しないことに悩み・苦しみそしてパニックを起こす。あたかもこどもが悪いかのように、こどもをしっかりと時にはたたいたりする。こどもが悩んだり苦しんだりしてパニックを

起こすとおとなは、ますます悩み苦しむパニックを起こす。

大人たちよしっかりしなさい。

こどもが苦しんでいる姿をよくみなさい。こどもの苦しみを一緒にしょって行こうよ。こどもと一緒に苦しむと対決しようよ。対決して苦しみを越えて行ったらこどもが、きらきらした笑顔をくれるよ。あなた（おとな）の顔も輝いているよ。こうして始まった受容的治療教育も実践が進み、より具体的になり、私達に指導の光を投げかけている。

三気の里は本年で5周年を迎える。先輩諸氏の実践にはまだまだヒヨコであるが、日本中、いや世界中の実践から盗み早く追い付きたい。医療、教育、福祉を一まとめにした療育をやって行きたい。園生の指導目標では①指示に従う。②最初から最後まで頑張る。このテーマに「あとひと踏ん張りする」意味を強調したい。片倉氏はこのセミナーで「百パーセント力を出

し切る子を育てる」と助言された。九九パーセントではだめだ。あと一パーセントの努力ができない障害なのだ。ひと踏ん張りして百パーセント出し切る子に育てる事を大切に助言された。

障害の本質をよく見極めて、療育する心と技術を養わなくてはならない。私達の仕事も一人一人が自分のもつ能力の百パーセントを出し切ってチームとして百二十パーセントの力を出せればと思えます。あと少し頑張れば、何が待っているだろう。あと少し頑張るときには、にこにこしておれないかもしれないが、あと少し頑張ったら結果はどうであれ笑顔一杯でいたい。

石井哲夫先生のご健勝を祈念致します。



沓岐の島新春マラソン大会に  
参加して

森川秀介

誠と楽しみながらやれる事を色々考えた末、去年から始めた各地へのマラソン大会への参加。今年の誠はついていて、去年阿蘇の古代マラソンに出場したせい、誠当てに沓岐の島新春マラソン大会より参加要請の手紙が参り、さでどうして行こうかと思っていた矢先、幸いにも、事務長の里が沓岐の島で、民宿をやっておられると言うことで、飛行機・宿・観光と願ってもない手配をして戴き、二泊三日のマラソンへの旅へ出発しました。誠の出場は、29才以下、5 Kmのコースで、勿論、完走。記録は、43位28分の堂々たる走りっぷり、(日常ウロウロしたり走ったりしているのが役に立っている)次回からは、所属は、三気の里で出場し全国にその名を広めようかなあ。海がきれいで、刺身好きの誠にとつて本当に楽しい思い出に

残るマラソンの旅でした。沓岐の島の事務長のお父さん、お母さん大変お世話様になりました。来年も走りに来ますので宜しくお願い致します。



白川ラインマラソン

『経過報告』

元田修一

2月10日(月)、今日は、けんこうしんだんにいきました。あと13日です。マイペースでがんばります。2月23日(日)、今日は、まちにまった白川ラインマラソン日です。さいしょは、マイペースではしって、あとからダッシュしてゴールにつきました。きろくは、28分33秒でした。449いでした。3じからユアシスクまもとに行つてプールを、およぎました。とてもおもしろかったです。らいねんは10 Kmにさんかしたいとおもいます。

三池真奈美

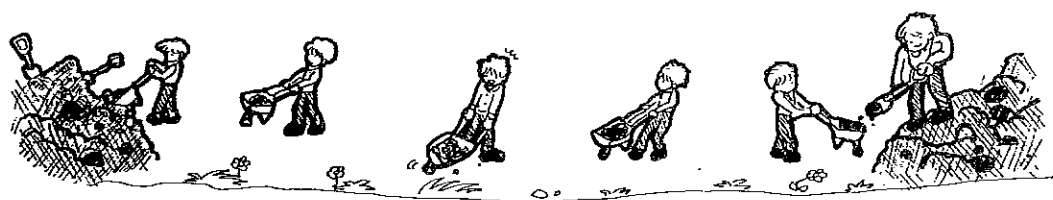
おそいあなたが主役です！(大会スローガン)の第18回大津白川ラインマラソン大会に修ちゃんと二人で参加した。目標は、「ゆっくりでいいから最後まで頑張る。」に決めた。が、修ちゃんは、折り返し地点を過ぎたあたりからペースを上げ私との差をどんどん離して走って行った。沿道で応援して下さる声が大変嬉しかった。結果は(5 Kmコース)699人中485位と、まあまあであった。(自分では満足している。)来年は是非、大勢で参加したいと思った。



## 2班 たんぽぽのように・・・

冬になると、ここ三気の里には雄大な阿蘇から、冷た～い冷た～い風がやって来ます。市内とは2～3度の温度差があるのではないのでしょうか？そんな三気の里への春の訪れは一体いつになることやら。しかし、よ～く見ると…そう2班の中にも芽吹き始めていますよ。今まで汗だくになり廊下の汽車ふきを頑張ってきたみんなも、いまでは横ぶきができるようになりました。雑巾もゴシゴシとこすり洗いできるようなもってきています。また、最近始めた紙すきもやっと形ができ始め、そろそろ製品作りへ取り組みたいな～と思っているところです。皆さんのお手元へ届くのはいつの事でしょうね。これから、他にもいろいろな事へチャレンジして行くつもりで2班です。皆んなにできない事はない！春はもうすぐ、たんぽぽのようにとんで行け！

清田



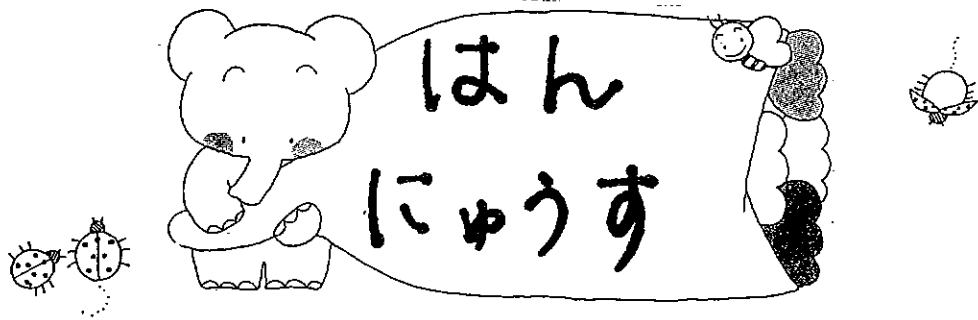
## 4班 春よ来い

梅の花も咲き誇り、暦の上でも“春”となりましたが、朝夕の冷え込みは相変わらず・・・朝、作業着に着替えるときは、つい『は～るよこい、は～やくこい』と口ずさんでしまいます。とは言っても日中は随分暖かくなって来ましたが・・・

ところで現在、中作業組は環境整備にと作業棟裏の土崩しに追われています。土手を崩しながら友達の一輪車にその土をのせるスコップグループ（スコップさばきもおみごと）、又、山のように積まれた土を運動場まで運ぶ一輪車グループ（坂道も何のその。力自慢の人ばかり）に分かれて作業はもくもくと進んで行きます。まるでアリンコを思わす様な働きぶりです。

外作業組はというと、小川農園さんから任されている楠木と山桃の種まきの仕事に追われています。ポットに土を詰める人、種をまく人、土をかぶせる人、それに種まきの済んだポットを運ぶ人、と各パートに分かれて作業をしています。（少人数のグループですが、頑張り屋の人達ばかりです。）大きいと思っていたビニールハウスの中はもうポットで一杯です。しかし、この苗達こそ、先に歌った“春よ来い”の歌ではないけれど『おんもへ出たいと待っている』のではないだろうか？！と、ふと思った私です。

山中



### 1 班 作業NOW

梅の花も咲きほころび、所によっては菜の花も見られるようになってきた今日この頃、1班のみんなの様子というと、去年12月より下請け作業のフルーツのネット折りを始めていますが、その作業風景では、熱心にネットを折る憲ちゃんと聡ちゃん、折ったネットを5つごとにケースに入れるひろちゃん、肇くん、最後に輪ゴムをかけるのが辰治さんと流れ作業でやっています。まだ始めてわずかですが、だいぶん数もこなせるようになってきており、みんなで頑張っています。それと平行して、従来の作業、洗濯仕分けでは、久美ちゃん・宣陽さん・忠ちゃん・勝ちゃんが頑張って毎日山のような洗濯物をそれぞれのカゴに分けています。ゆくゆくは、職員がついていなくても、頑張れるようになって欲しいと願っています。そんな日が来るのは、いつの日かな?! 早く来い! 来い!

武藤

### 3 班 冒険の散歩道

3班の皆は、丸太の皮むきに黙々と励んでいます。昼休みのときから自主的にやって来て皮をむいていたりする3班園生も少なくありません。「さあ、一区切りついたらおやつをもって散歩に出ようか!」指導員の元気な声に、皆の皮をむくスピードは、一段とアップします。この皮むき作業といいますのは見かけよりずっと楽しいもので、一度やり出すと、癖になってなかなか止められなくなります。この“昼休みでも皮むきをしていたいっ。”という、3班の皆の気持ちも、一度皮むき包丁を手にしたことのある者ならだれにだって納得のいくところでしょう。すぐに数本の丸太をむき終わり、今日は久しぶりになんとか春めいて来た感じのする道程を歩き始めました。田んぼのあぜ道、丸太の一本だけかかった小さな小川の橋、笹藪の中、川沿いの岩のうえ・・・3班の皆は、懸命について来てくれます。尻もちをついて滑り落ち、四つんばいになりはい上がり、やっと着いた白川のほとりでは、既に皆は泥だらけ、冒険の道程の勲章です!そこで食べたおやつ的美味しかったこと、川の流れ、小鳥のさえずりが美しかったこと・・・時にはこんな散歩道を皆さんも如何ですか?

坂本

お母さんの目

日置朋子

文章を書くことが苦手な私に何故に原稿がまわってきたのだろう、毎日頭の中がパニックになりそうです。私の仕事は午後からのほんの少しの時間の手伝いで、行事等に参加する以外は園生に直接かわる事も少ないので、なかなか顔を見ない園生もいます。三気の里には現在51人の園生がいます。指導員の方々がお兄さん、お姉さん、父母の役割をしているのですが、やっぱり担当の指導員がいない時は調子が悪かったり、落ち着きません。私でよければ一緒にいることくらいできるのですが、(それには勇氣も必要です。)私にも2人の子供がいます。午後からは同居している義母に預けて仕事にきていますが、調子の悪い時は”母ちゃん大好きなのに、どうして帰ってこないかなあ”と素足で玄関からとびだしたことがあるそうです。言葉にはしゃべれなくても同じ思

いが園生のみんなにもあると思います。三気の里が生活の場として居心地のいい所にするためにも私の仕事は続くことでしょう。”のん気・根気・元気”これからも頑張りますよ。



こうろぎ母さんの

栄養の世話

牛嶋妃佐美

つい先日、一人息子の1才の誕生日に、もちつきをしました。昨年暮れから行事や祝い事が多く、餅も食べ飽きたかなあとと思うころでしたが、我が子のためと思えば力も入ります。3月3日のひな祭りでも、菱餅を作られる家庭が多いことでしょう。

栄養的にもすぐれ、保存もきくようにと、長い年月をかけて作り

上げた昔の人の知恵と思われる行事食です。粗末には出来ないなあ、と今回つくづく思いました。これからの面倒がらずに、折々取り入れたいものですね。餅を利用して、あべ川、磯辺巻き、あられ餅、雑煮等、手近なところでみそ汁に入れたり、煮付けてもおいしいですね。餅は柔らかく煮ると消化がよくなりますが、口当たりが良いので食べ過ぎに注意しましょう。

お礼とおわび

前号のお礼の欄で、「大津町の野田石油さんより寄付を頂きました。」は野田商店さんの誤りでした。ここに謹んでおわび申し上げます。と共に、改めてお礼申し上げます。

岡崎様より、香典返しとして多額のご寄付をいただきました。お礼申し上げます。

## ぼらんていあ通信

## ポランティア通信

もうすぐ卒業のシーズンになります。三気の里にポランティアに来て下さった方々の中にも進学される方、社会人になられる方、様々だと思えます。新しい環境になつてからも頑張つて下さい。また三気の里にも暇をみつけては、遊びに来て下さい。いつでも歓迎致します。3月に入つてから、ポランティア登録継続有無のハガキを郵送しますので、引き続き登録される方は、記入の上返送をお願い致します。3月20日には、今年度最後の学習会をしますので、多数の御参加お待ちしております。詳しくは、別紙にてお知らせ致します。ポランティアしてみたい方、一度三気の里に来てみませんか！

武藤

ポランティアありがとうございます

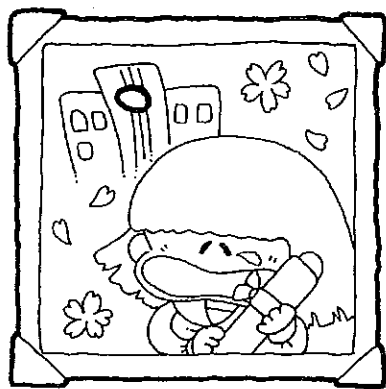
坂本シマコさん

源造マスマミさん(散髪)

遠山一恵さん(園内清掃)

天使園のみなさん(園内整備)

歯科衛生士の森さんが、めでたく退院され、自宅療養されていきます。早く良くなってまた顔を見せて下さい。みんな待ってまーす。



## 食堂営業中

最近、厨房のお手伝いをしてくれるお友達が多くなって助かっています。

毎朝来て手伝ってくれる由美ちゃん。「これは由美ちゃんにしてもらおう。」とあてにして待っています。

お盆ふきがとっても上手な泰成くん、信ちゃん。素早く、きれいにお盆をふきあげてくれます。

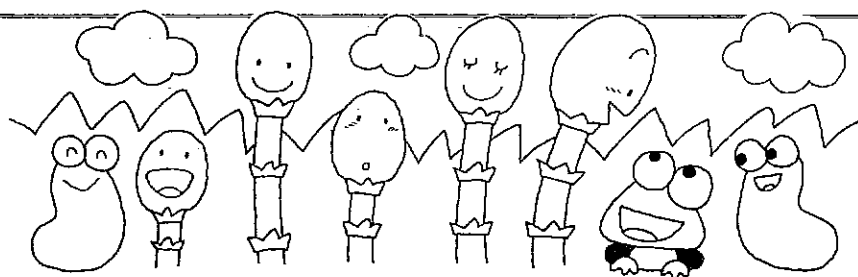
土曜や日曜に来て「何か手伝うことなかね。」と自分からすすんでお手伝いしてくれる中嶋くん、いつもゴミ焼きをしてもらいます。人手が足りなくて大変な時「お手伝いしようか。」と、恥ずかしそうに厨房に入って来るさゆりちゃん、それから民さん。じゃがいもの皮むきや食器洗いがとっても上手です。

みんな、本当にありがとうございます。これからお手伝いよろしくね。

高木

## 3月の行事予定

1(日)	17(火)
2(月)	18(水)
3(火)	19(木) 1班レク 誕生会
4(水)	20(金) Vo学習会
5(木) 4班レク	21(土) 療育相談日
6(金)	22(日)
7(土) シーツ交換 療育相談日	23(月)
8(日)	24(火)
9(月) 愛護体育実技研修(職員)	25(水) 大掃除
10(火)	26(木) 2班レク
11(水)	27(金) 帰宅日 帰宅バス運行
12(木) 3班レク	28(土) 園内研修
13(金)	29(日)
14(土) 保護者会 父兄会 帰宅日	30(月)
15(日)	31(火)
16(月)	



……たんぼぼ編集と裏話……

毎月、月末の金曜日、午後6時。編集委員が事務所に集まってくる。事務所のドアには、「たんぼぼ編集の為入室禁止、ごめんね。」という張り紙がはられる。園生のみんなは、窓やドアにへばり付いて、何かとのぞき込む。お母さんが打ってくれたワープ原稿の校正がスタート。「こがん字、あったつね。」「もうよかばい。」といった大声のなか編集は進む。血走った編集委員をよそに、漂々とした編集委員が一人、「今日の夕飯は、おいしかった。」と事務所にやってくる。一同「ムッ」その後は、吹き出すように大笑い。何事も無かったかのようにカットを描きだす。一同「ア然！」夜も更けてようやく終了。この時が一番待ち遠しい。

こんな感じで編集が行われます。皆さんのぞきに来ませんか？

坂井